

参議院外交防衛委員会 議事録（抜粋）

平成 18 年 6 月 13 日

○犬塚直史君 それでは質問を変えます。

今度は、ODAによる武器禁輸三原則について質問をいたします。

まず、これは新聞記事で最近出ておりましたが、政府が巡視艇供与を決定すると。八日の安全保障会議でODAを使ったテロ対策、海賊対策としてインドネシアに巡視船艇三隻供与することを決定したと。ODAによる外国への武器供与は初のケースであるということなんですけれども、これは政府として本当にこの正式の意思決定をするという検討中なんでしょうか。

○国務大臣（麻生太郎君） 今朝の閣議において、インドネシアに対する巡視艇三隻の供与に係る無償資金協力に関する交換文書というものを締結することを決定しております。

現在、御存じのように各地においていわゆるテロとか海賊行為が多発しております。日本でも若松の「韋駄天」という世界一のタグボートが誘拐されたりしたのは御記憶のところだと存じます。そういった国際社会の中であって、私どもとしては、平和と安定というものにとりましてはますます重要でありますので、こういったものの取締りに関しましては、私どもとしては、この防止を支援するという意味において取組の一環としてODAによる支援を決定したものであります。

今回、供与されます巡視艇というものにつきましては、乗務員を保護するために防弾装置を施してあると、回りに鉄の板が張ってあるということです。その結果、武器輸出三原則等の武器に当たり得ると判断されることになったことから、その輸出に際しては、一定の要件の下に武器輸出三原則によらないこととして、今朝閣議了解後、官房長官の談話で公表しております。

政府としては、今後とも引き続き、ODAによりますテロ、海賊行為等の取締り、防止のための支援というものを行っていきたいと考えておるという次第です。

以上

国立国会図書館ウェブサイト国会会議検索システムより検索、抜粋

http://kokkai.ndl.go.jp/cgi-bin/KENSAKU/swk_dispdoc.cgi?SESSION=23730&SAVED_RID=2&PAGE=0&POS=0&TOTAL=0&SRV_ID=9&DOC_ID=3733&DPAGE=1&DTOTAL=15&DPOS=7&SORT_DIR=1&SORT_TYPE=0&MODE=1&DMY=24073